

# 令和2年度 予算事業説明シート

<b>事務事業名</b>	市政の企画、調査事務	<b>新規/継続</b>	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0107400000-001		
		<b>予算所管課</b>	政策局政策室				
		<b>連絡先</b>	(078)918-5010				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業所管課</b>				
	<b>款</b>	総務費	<b>連絡先</b>				
	<b>項</b>	総務管理費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
	<b>目</b>	企画費	<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法第1条の2			
	<b>事業</b>	企画・調査事務事業					
<b>施策分野</b>	6 行政経営分野 6-2 自立した地方行政の推進		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>				委託		指定管理	

**事業の目的・目標**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 社会経済情勢や市民ニーズの変化など、市政を取り巻く状況を的確に把握した上で、新規施策の企画や総合調整を行うことで、広範にわたる行政課題を解決する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

- 事業内容**
- ①新規・重要施策の企画調整  
 市政の計画的かつ効果的な推進を図るため、施策決定プロセス等において、市長・副市長と協議の上、各局の主な課題に対する取組方針や新規・重点施策の方向性を早期に決定し、新年度予算に的確に反映する。
  - ②総合教育会議の開催  
 市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を開催する。
  - ③共生社会ホストタウン交流事業【令和2年度】  
 共生社会ホストタウンとして、オリンピック・パラリンピック大会後に、市内において、パラリンピアンとの交流事業を関係部局等と連携して実施する。
  - ④LGBT/SOGI施策【令和2年度】  
 性の多様性への理解を促進し、どのようなSOGIであっても、誰もが自らの意思で夢に向かい進歩できるよう、新たな奨学金制度の創設に向けた検討を行う。
  - ⑤(仮称)新たな奨学金のあり方検討会【令和2年度】  
 親の意思や経済的な環境に依拠せず、子どもが自らの意思で夢に向かい進歩できるよう、新たな奨学金制度の創設に向けた検討を行う。
  - ⑥(仮称)緑のあり方に関する検討会【令和2年度】  
 地域経済の発展と良好な地域環境との調和を図るため、工場緑地面積率の緩和や緑のあり方等について検討を行う。
  - ⑦(仮称)高齢者等の移動支援のあり方検討会【令和2年度】  
 高齢者等のニーズを踏まえ、将来にわたり安心して外出することができるよう、今後のたこバスやバス・タクシー優待乗車制度のあり方などについて検討を行う。

SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
		○	○	○			○		○	○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
30決算	5,717	74,380	80,097	0	0	0	80,097	正規	6.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	9,275	50,220	59,495	0	0	1	59,494	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	12,200	55,080	67,280	0	0	1	67,279	任期付	0.90	合計	7.40

令和元年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	委員謝礼、学識者指導等	200		報償費	委員謝礼、学識者指導等	2,440
	旅費	先進地視察、関係機関との協議、近接地旅費等	1,930		旅費	先進地視察、関係機関との協議、近接地旅費等	2,961
	使用料及び賃借料	コピー使用料	821		使用料及び賃借料	コピー使用料	693
	役務費	官庁速報(i JAMP)情報提供料	955		役務費	官庁速報(i JAMP)情報提供料	1,584
	委託料	重要施策等に関する委託調査	5,000		委託料	ホストタウン交流事業等に関する委託	3,800
	その他	消耗品等、研修参加負担金等	369		その他	消耗品等、研修参加負担金等	722
	<b>合計(A)</b>				9,275	<b>合計(B)</b>	

<b>予算増減(B)-(A)</b>	2,925	<b>主な理由</b>	共生社会ホストタウン交流事業、LGBT/SOGI施策、奨学金・緑のあり方・高齢者等の移動支援に係る検討の新規施策によるもの
--------------------	-------	-------------	---

# 令和2年度 予算事業説明シート

<b>事務事業名</b>	広域行政事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0107400000-002		
		<b>予算所管課</b>	政策局政策室				
		<b>連絡先</b>	(078)918-5010				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計					
	<b>款</b>	総務費					
	<b>項</b>	総務管理費					
	<b>目</b>	企画費					
	<b>事業</b>	広域行政事務事業					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野						
	4-6 都市間交流・国際交流の推進						
<b>個別計画</b>							
		<b>事業所管課</b>					
		<b>連絡先</b>					
		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明		
		<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法第1条の2、神戸市隣接市・町長懇話会規約等				
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
		委託			指定管理		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	神戸隣接市・町長懇話会、東播磨流域文化協議会等を構成する自治体及びその市民を対象に、広域的な行政課題に対処するために、周辺自治体との情報交換・連携を図ることを目的として、各種協議会等の運営を行っている。また、それぞれの自治体がかつ地域特性を活かした交流を通じて、お互いの地域の魅力を再発見し、まちの活性化につなげていくことをめざす。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	懇話会・協議会等開催回数	行政課題解決に向けた懇話会、協議会等の開催回数	令和2年度	回	11

<b>事業内容</b>	①神戸隣接市・町長懇話会 神戸市と神戸市に隣接する8市町の首長が広域的な行政課題について情報及び意見の交換を行う。（懇話会年1回、幹事会年3回程度）
	②東播磨流域文化協議会 東播磨地域における地域活性化事業等に関する市民団体への助成や情報交換、意見交換等を行う。（総会1回、担当課長会2回）
	③播磨広域連携協議会 「はりま酒文化ツーリズム」等の事業により全国に播磨地域の情報発信を行う。（総会1回、広域連携協議会2回開催）
	④養父市 交流協定に基づき、市民主体の相互交流の促進に向けた取組を行う。
	⑤明石市・神戸市企画担当連絡会議 神戸市との共通課題の解決に向けて、情報の共有と今後の取組方針の総合調整を行う。（連絡会議年1回程度）

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
30決算	807	3,645	4,452	0	0	0	4,452	正規	1.10	アルバイト	0.00
01当初予算	867	4,050	4,917	0	0	0	4,917	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	867	8,910	9,777	0	0	0	9,777	任期付	0.00	合計	1.10

<b>令和元年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和2年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	旅費	近接地旅費	30		旅費	近接地旅費	30
	需用費	消耗品費等	30		需用費	消耗品費等	30
	負担金補助及び交付金	各種広域交流協議会等負担金	807		負担金補助及び交付金	各種広域交流協議会等負担金	807
	<b>合計(A)</b>				867	<b>合計(B)</b>	

<b>予算増減(B)-(A)</b>	0	<b>主な理由</b>	
--------------------	---	-------------	--

# 令和2年度 予算事業説明シート

事務事業名	ユニバーサルデザインのまちづくり事業			新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0107400000-003		
				予算所管課		政策局政策室			
				連絡先		(078)918-5296			
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課					
	款	総務費		連絡先					
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 30 年度		
	目	企画費		根拠法令・要綱等		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
	事業	ユニバーサルデザインのまちづくり事業							
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	5-1 良好な都市環境の整備				委託		指定管理		

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 共生社会の実現に向けて、年齢や障害の有無にかかわらず、様々な市民の視点に立って、誰もが安全で快適に移動することができる、ユニバーサルデザインのまちづくりの取組を推進する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
協議会の開催回数	ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた協議・連絡調整を図るための「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」の開催回数	令和2年度	回	3

**事業内容**

【令和元年度】

①「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」の開催  
 バリアフリー法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）に基づく協議会として、交通事業者、公共施設管理者などの関係事業者、有識者、高齢者・障害者などの当事者及びその支援者等から構成される「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会（以下、「協議会」という。）」を開催し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた取組についての協議・連絡調整を行う。（令和元年度は協議会を6回開催予定）

②「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（マスタープラン編）」の策定  
 全市域を対象としたユニバーサルデザインのまちづくりの取組を推進するため、協議会での検討や障害当事者等との現地調査（まちあるき）などを踏まえながら、バリアフリー法上の移動等円滑化推進方針（マスタープラン）にあたる「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（マスタープラン編）」を策定する。（令和2年3月策定予定）

③「あかし案内所」の整備  
 関係機関との連携協力のもと、JR明石駅の商業施設（ピオレ明石西館）の南側をアーチ状に拡張し、その館内において、障害の有無や年齢、性別などにかかわらず、誰にもやさしい案内所及び誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの市民トイレ、子育てサポート室等を備える「あかし案内所」を整備する。（令和2年3月供用開始予定）

【令和2年度】

①「ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」の開催  
 引き続き、協議会を開催し、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた取組についての協議・連絡調整を行う。（令和2年度は協議会を3回開催予定）

②「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（基本構想編）」の策定  
 実行計画（マスタープラン編）を踏まえ、特にバリアフリー化が必要な地区で核となるハード事業の具体的な調整が可能な地区について、バリアフリー法に基づく「重点整備地区」に設定し、具体的な事業内容等を定める基本構想「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（基本構想編）」を策定する。（令和3年3月策定予定）  
 なお、本基本構想は、協議会での検討や障害当事者等との現地調査（まちあるき）を踏まえながら策定を進める。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○						○		○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	2.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
30決算	7,074	16,200	23,274	3,640	0	0	19,634	正規	2.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	120,293	23,760	144,053	34,600	61,200	0	48,253	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	8,327	21,330	29,657	2,166	0	0	27,491	任期付	0.10	合計	2.70

令和元年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	ユニバーサルデザインのまちづくり協議会委員報酬	900		報酬	ユニバーサルデザインのまちづくり協議会委員報酬	620
報償費	ワークショップ(まちあるき等)参加者への謝礼等	620	報償費	ワークショップ(まちあるき等)参加者への謝礼等	450		
委託料	計画策定支援業務委託料、施設整備委託金	65,000	委託料	計画策定支援業務委託料	6,500		
使用料及び賃借料	会議室使用料、施設用地借入用敷金	13,053	その他	旅費、需用費、役務費(音訳・点訳料)、会議室使用料	757		
負担金補助及び交付金	明石観光協会への施設整備費補助金	40,300					
その他	旅費、需用費、役務費(音訳・点訳料)	420					
合計(A)			120,293	合計(B)			8,327

予算増減(B)-(A)	-111,966	主な理由	「あかし案内所」の整備・運営費用の減によるもの。
-------------	----------	------	--------------------------

# 令和2年度 予算事業説明シート

<b>事務事業名</b>	SDGs推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0107400000-004	
		予算所管課	政策局政策室			
		連絡先	(078)918-5010			
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業所管課			
	款	総務費	連絡先			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度
	目	企画費	根拠法令・要綱等	地方自治法第1条の2、明石市自治基本条例第26条、明石市市民参画条例第6条の2		
	事業	SDGs推進事業		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>
個別計画		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 持続可能な社会の実現に向けて、今後の目指すまちの姿として、「SDGs未来安心都市・明石」の創造を掲げ、SDGsの理念を反映した「いつまでも」「すべての人に」「やさしい」まちづくりを、「みんな（パートナーシップ）で」推進する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	※(仮称)あかしSDGs前期戦略計画策定時に設定予定			

- 事業内容**
- 第5次長期総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の一体的な推進
    - 長期総合計画推進会議を活用した総合戦略の効果検証(令和元年度)
      - 総合戦略及び長期総合計画に基づく施策展開の確認、意見聴取
      - 総合戦略に定める数値目標の達成状況の検証
      - 国・県各種交付金の効果検証
    - まちづくり市民意識調査の実施(令和元年度)
      - 長期総合計画及び総合戦略の推進状況の検証
      - 次期計画の策定と今後の施策展開への活用
    - 実行計画の策定
    - 総合戦略の1年延長(令和元年度)
  - 「(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」の策定
 

SDGsの理念を反映した「(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」及び「(仮称)あかしSDGs前期戦略計画(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)」を、市民参画のもと、策定する。(令和3年3月策定予定)

    - あかしSDGs推進審議会を開催し、計画案について審議・検討(令和元年度2回、令和2年度4回開催予定)
    - 「(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」意見箱を設置
    - 当事者団体等との意見交換
    - SDGsの普及・啓発活動(市民、事業者など)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱｶﾊﾞｲﾄ	再任用	その他
30決算	119	4,860	4,979	0	0	0	4,979	正規	1.70	ｱｶﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	4,189	21,060	25,249	0	0	0	25,249	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	5,437	13,770	19,207	0	0	0	19,207	任期付	0.00	合計	1.70

令和元年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	推進会議委員謝礼	149		報酬	審議会委員報酬	1,250
需用費	消耗品費等	33	報償費	SDGs研修・講演会等謝礼	290		
委託料	まちづくり市民意識調査業務委託	4,000	需用費	消耗品費等	44		
使用料及び賃借料	推進会議会場使用料	7	委託料	次期総合計画策定支援業務委託	3,800		
			使用料及び賃借料	審議会会場使用料	53		
			<b>合計(A)</b>	4,189		<b>合計(B)</b>	5,437

予算増減 (B)-(A)	1,248	主な理由	次期総合計画策定のため。
-----------------	-------	------	--------------

# 令和2年度 予算事業説明シート

<b>事務事業名</b>	大蔵海岸民活施設用地管理事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0107400000-005	
		予算所管課	政策局政策室			
		連絡先	(078)918-5010			
<b>関連予算科目目</b>	会計	一般会計	事業所管課			
	款	土木費	連絡先			
	項	土木管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 29 年度
	目	海岸海域整備事業対策費	根拠法令・要綱等	大蔵海岸通地区地区計画		
	事業	大蔵海岸民活施設用地管理事業				
施策分野	3 産業・観光分野 3-4 観光の振興	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画		委託		指定管理		

**事業の目的・目標**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 条件付売却を実施した大蔵海岸民活施設用地（A1～3区画・B区画）について、民間企業の誘致により、市民が憩うにぎわいの空間を創出するとともに、安定した賃貸収入を確保して同用地の管理を行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
基金残高	賃貸収入からリース料を差し引いた余剰金を、大蔵海岸民活施設用地管理基金に積み立てる。事業者の継続的な出店により、にぎわいの創出と安定した積立てを行う。	2052(R34)年度	千円	660,000

**事業内容**

◆大蔵海岸民活施設用地（A1～3区画・B区画）は、企業会計が造成し、賃貸で運営していたが、平成29年10月31日付で売却と同時にリースする条件付売却を実施した。リース契約は本事業で一般会計が引き継いでおり、企業会計は平成29年度末で廃止した。  
 ◆リース料（固定資産税・都市計画税相当分を除く）は、事業者からの賃貸収入で賄う。  
 ◆事業の安定化等に向けて、賃貸収入からリース料を差し引いた余剰金を基金に積み立てる。

<リース内容>  
 ・契約相手方: MULプロパティ株式会社  
 ・期間: 2017(H29).10.31～2052(R34).10.30  
 ・年間リース料  
   ～2022(R4).9 224,400,000円  
   2022(R4).10～ 256,800,000円  
   2037(R19).10～ 230,400,000円  
 ※上記リース料に固定資産税及び都市計画税相当分を上乗せして支払う。  
 ・最終リース料  
   2052(R34).10.31 3,563,800,000円  
 ※最終リース料を支払い、民活施設用地を取得する。取得と同時に民間事業者に売却することで、財源を確保する。

<転貸状況>

区画	面積	賃貸期間	賃料(年額)	事業者
A1	9,361.67㎡	(2002(H14).5.25～2022(R 4).5.24)	44,936,016円	アクトス(スポーツ施設)
A2	7,064.27㎡	(2002(H14).9.25～2022(R 4).9.24)	33,908,496円	イズミ産業(温浴施設)
A3	10,537.42㎡	(2010(H22).6.1～2022(R 4).9.24)	50,579,616円	イー・ビー・シー開発(住宅展示場)
B	15,892.53㎡	(2018(H30).1.14～2038(R20).3.31)	95,355,180円	アルペン(スポーツ用品販売)
計	42,855.89㎡		224,779,308円	

※2018(H30)年3～4月にA区画の3事業者と次期契約を締結した。(契約期間:～2042(R24).9.30 月額賃料:現在400円/㎡→520円/㎡)  
 ◆大蔵海岸西駐車場の一部について、民活施設用地への転用を行い、民間活力の導入による大蔵海岸の更なる活性化を図る。(2019年度～)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
30決算	300,498	6,850	307,348	0	0	269,442	37,906	正規	1.10	パート	0.00
01当初予算	258,245	8,910	267,155	0	0	226,245	40,910	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	257,038	8,910	265,948	0	0	225,038	40,910	任期付	0.00	合計	1.10

令和元年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	学識者等謝礼	100		報償費	学識者等謝礼	100
役務費	公正証書作成手数料	150	役務費	公正証書作成手数料	143		
委託料	測量業務委託料	1,200	使用料及び賃借料	大蔵海岸民活施設用地借地料	256,400		
使用料及び賃借料	大蔵海岸民活施設用地借地料	256,400	積立金	大蔵海岸民活施設用地管理基金積立金	395		
積立金	大蔵海岸民活施設用地管理基金積立金	395					
<b>合計(A)</b>			258,245	<b>合計(B)</b>			257,038

予算増減 (B)-(A)	-1,207	主な理由	民活施設の誘致に向けた大蔵海岸西駐車場の測量業務委託が完了したことによる減
-----------------	--------	------	---------------------------------------

# 令和2年度 予算事業説明シート

事務事業名 本のまち明石推進事業		新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0107400000-006												
		予算所管課		政策局政策室													
		連絡先		(078)918-5209													
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課														
	款	教育費	連絡先														
	項	社会教育費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 26 年度											
	目	社会教育総務費	根拠法令・要綱等		社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法												
	事業	本のまち明石推進事業															
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		実施方法		直営	○	補助・助成		その他								
個別計画	(仮称)市民図書館整備基本計画				委託		指定管理	○									
事業の目的・目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか) 「やさしいまち」「教養・文化の薫り高いまち」として明石の魅力を一層高めるため、あかし市民図書館を核として、いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまちづくりを進める。																
	成果指標																
	指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値									
	本の貸出冊数		あかし市民図書館、西部図書館、移動図書館、学校図書館等の貸出冊数合計			令和2年度	冊	3000000									
事業内容	【平成30年度】 ○「あかし保育絵本土(基礎コース)」の開講 ・ 就学前教育の一層の充実を図るため、幼稚園教諭や保育士を対象に、子どもと絵本の関わり方について研修を行い、受講者の中から、市オリジナルの資格「あかし保育絵本土」として認定する取り組みを新たに実施。 ○ブックセカンド事業〔図書館運営事業〕 ・ 3歳児健診時に、図書館司書らによる絵本相談会等を行うとともに、絵本とブックリストを手渡す取り組みを新たに実施。 ・ ブックスタート、ブックセカンド絵本リストの刷新。 ○放課後ブックサークル事業〔図書館運営事業〕 ・ 図書館から貸出し、その本をクラブ間で循環させ、子どもたちにより多くの本と出合う機会を提供するため、全ての放課後児童クラブで実施。 ○新移動図書館車の運用開始〔図書館運営事業〕 ・ 移動図書館車をリニューアルし、大型車・小型車の2台体制で運用を開始。																
	【令和元年度】 ○「あかし保育絵本土(応用コース)」の開講 ・ あかし保育絵本土(基礎コース)認定者を対象に、保育現場での実践につなげることを目的に「あかし保育絵本土(応用コース)」を新たに実施。 ○本のまち大使の任命 ・ 本のまち明石の発信や本の楽しさや魅力を広めるため、芥川賞作家の上田岳弘氏を「本のまち大使」に任命。 ○明石市本のまち基金の設立 ・ 図書館のソフト面、ハード面の充実や読書バリアフリー環境の整備を進めるため、一般財団法人公立図書館助成会からの寄付金を原資に設立。																
	【令和2年度】 令和元年度の取り組みを見直し・充実を図りながら実施するとともに、下記の新規事業を実施する。 ○読書バリアフリー条例制定に向けた検討 ○図書館や福祉施設等における読書バリアフリー環境の整備																
	SDGs(17の目標)																
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
				○						○	○						
	事業のコスト(単位:千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)							
						国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1.90	アルバイト	0.50				
	30決算		2,087	8,710	10,797	260	0	0	10,537	再任用	0.10	その他	0.00				
	01当初予算		8,062	13,040	21,102	0	0	77	21,025	任期付	0.00	合計	2.50				
02当初予算		6,159	16,655	22,814	0	0	13	22,801									
令和元年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額								
	報償費	講師謝礼等		1,100		報償費	講師謝礼等		1,180								
	旅費	本のまち明石推進アドバイザーとの協議、講師旅費等		1,079		旅費	本のまち明石推進アドバイザーとの協議、講師旅費等		800								
	需用費	参考図書、消耗品及び印刷製本費、保育絵本土に係る絵本代等		2,605		需用費	消耗品及び印刷製本費、保育絵本土に係る絵本代等		1,753								
	その他	本のまち明石の発信、保育絵本土養成、100周年記念事業等		3,278		その他	本のまち明石の発信、保育絵本土の養成、読書バリアフリー機器等		2,426								
	合計(A)					8,062	合計(B)		6,159								
予算増減(B)-(A)			-1,903	主な理由	100周年事業終了による委託料の減額等												

# 令和2年度 予算事業説明シート

<b>事務事業名</b>	図書館運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0107400000-007		
		<b>予算所管課</b>	政策局政策室				
		<b>連絡先</b>	(078)918-5209				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業所管課</b>				
	<b>款</b>	教育費	<b>連絡先</b>				
	<b>項</b>	社会教育費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 49 年度	
	<b>目</b>	図書館費	<b>根拠法令・要綱等</b>	図書館法, 明石市立図書館条例・同施行規則, 地方自治法, 明石市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例			
	<b>事業</b>	図書館運営事業					
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他	
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン			委託	指定管理	○	

**事業の目的・目標**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 図書館を本のまちの核施設として位置付け、図書館サービスの充実・向上を図り、施設設備の維持管理を含めた指定管理者による図書館の適正かつ円滑な管理運営を行うとともに、市民の教養、調査研究、レクリエーション等生涯学習活動に資することを旨とする。

**成果指標**

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
貸出冊数	あかし市民図書館、西部図書館、移動図書館の貸出冊数の合計	令和2年度	冊	2500000
来館者数	あかし市民図書館(明石市立図書館)と西部図書館の来館者数合計	令和2年度	人	1250000

**事業内容**

1 指定管理者による管理運営  
 市民サービス向上と施設の効率的な運営を図るため、平成18年度に指定管理者制度を導入した。平成27年度からの7年間は、下記の業者が管理運営を行っている。図書館を「本のまち明石」の推進の核施設とし、指定管理者と連携しながら取り組みを進める。  
 (1) 指定管理者: TRC・長谷工・神戸新聞グループ  
 (代表) ㈱図書館流通センター、(構成) ㈱長谷工コミュニティ、㈱神戸新聞地域創造  
 (2) 指定期間: 平成27年4月1日～令和4年3月31日(7年間)  
 <参考> 運営状況  
 【平成29年度実績】①登録者数…78,589人 ②貸出冊数…2,479,577冊  
 (主な取組み) ・ブックスタート、学校連携の充実、幅広い世代を対象とするイベントや講座の開催等  
 【平成30年度実績】①登録者数…85,137人 ②貸出冊数…2,406,865冊  
 (主な取組み) ・ブックセカンド、移動図書館車2台運行  
 【令和元年度見込み】①登録者数…85,000人、②貸出冊数…2,410,000冊

2 指定管理業務の指導・監督等  
 「本のまち明石」の拠点として、指定管理者による適切な管理運営がなされるよう、指定管理者から定期的に事業報告を受け、その内容を確認・検証するとともに、必要に応じて調査・指導・助言を行う。

3 本のまち推進に係る事業の実施  
 2台の移動図書館車の運行、乳幼児健診の機会を活用した「ブックスタート事業」(4か月児)、「ブックセカンド事業」(3歳児)、全放課後児童クラブで実施している「放課後ブックサークル事業」などの充実を図るとともに、読書バリアフリー環境の整備に取り組み、年齢や障害の有無に関わらず市民が本に親しむ機会を提供する。

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○						○	○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和元年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/10代	再任用	その他
30決算	369,264	13,590	382,854	2,622	0	1,622	378,610	正規	1.10	1/10代	0.50
01当初予算	389,533	9,360	398,893	0	0	918	397,975	再任用	0.90	その他	0.00
02当初予算	386,290	12,895	399,185	0	0	935	398,250	任期付	0.00	合計	2.50

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
需用費	ブックセカンド絵本代等	7,300	需用費	ブックセカンド絵本代等	5,490
委託料	指定管理料等	380,580	委託料	指定管理料	380,000
使用料及び賃借料	会場借上げ料等	1,500	備品購入費	読書バリアフリー対応機器等購入費	800
その他	手数料等	153			
<b>合計(A)</b>			<b>合計(B)</b>		
		389,533			386,290

<b>予算増減(B)-(A)</b>	-3,243	<b>主な理由</b>	移動図書館車車庫修繕費の減等
--------------------	--------	-------------	----------------